

款	7	商工費	予 算 現 額	5,617,754 円
項	1	商工費	決 算 額	5,558,256 円
目	1	商工総務費	前 年 度 決 算 額	4,520,153 円
			対 前 年 比	123 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	商工一般管理事業	コード	01	07	01	01	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅶ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	商工業者、職員
2 働きかける相手(対象)	職員
3 どのような状態に したいのか(意図)	商工行政全般を円滑に推進できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	商工一般事務事業 産業立地に関する情報収集等のため、愛知県産業立地推進協議会に負担金を支払いました。 日進市、豊明市、長久手市及び東郷町を管内とし、管内商工会始め各金融機関、大学等各種の関係機関と連携して実施する創業支援について、計画を改定しました。 また、令和3年3月6日にウインク愛知で8市町（大府市、豊明市、東郷町、みよし市、日進市、長久手市、瀬戸市及び尾張旭市）合同地元就職フェアを開催し、就労支援を実施しました。				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	地元就職フェア参加町内企業数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	社 6.00	社	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	地元就職フェアに参加した町内 企業数	平成 30 年度	社 8.00	社	
			令和 元 年度	社 6.00	社	
			令和 2 年度	社 5.00	社	
6 直接事業費計		前年度決算額 124,190 円		決 算 額 82,502 円		

款	7	商工費	予 算 現 額	288,044,238 円
項	1	商工費	決 算 額	269,439,289 円
目	2	商工業振興費	前 年 度 決 算 額	95,315,614 円
			対 前 年 比	282.7 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	文化産業まつり開催事業	コード	01	07	01	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち							
	基本施策：5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する							
	施策の展開方向：(3) 町民相互の絆を深める							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民、事業者
2 働きかける相手(対象)	来場者
3 どのような状態に したいのか(意図)	町民の文化創造、町内の産業振興を図るとともに、賑わいとふれあいの場を創出します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	文化産業まつり開催事業 新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 令和3年度の開催に向けて、これまでにない新たな取組を実施することで更に賑わいを創出し、より一層町民の皆様楽しんでいただけるものとなるよう検討を重ね、関係機関と調整を図りました。					
-------------------------	---	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	全事業数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	事業 179.00	事業	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	各部催事の計	平成 30 年度	事業 190.00	事業	
			令和 元 年度	事業 187.00	事業	
			令和 2 年度	事業 0.00	事業	
6 成果指標	指 標 名	来場者数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	人 15,000.00	人 20,000.00	第 5 次総合計画による 目標値
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	文化産業まつりの来場者数	平成 30 年度	人 18,000.00	人 20,000.00	
			令和 元 年度	人 18,000.00	人 20,000.00	
			令和 2 年度	人 0.00	人 20,000.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	4,450,614 円	決 算 額		0 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	商工関係事業	コード	01	07	01	02	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：2町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		商工業者、東郷町商工会及び町民				
2 働きかける相手(対象)		東郷町商工会				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		商工業者の経営改善等が行われ、商工業の活性化が図られるようにします。また、東郷町商工会所有の街路灯を良好な状態に保ちます。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 商工会運営事業 (1) 東郷町商工会から令和2年度の事業報告がありました。 ア 一般会員数 658名 イ 事務局職員数 9名 ウ 経営指導員による指導件数 1,837件 エ 講習会等参加人数 198人 オ 金融斡旋件数 11件 (2) 東郷町商工会に対して運営事業費補助金を交付しました。 ア 補助対象経費 経営改善普及事業費 49,521,672円 管理費 15,864,672円 イ 補助金額 21,834,000円 2 商工団体育成事業 東郷町商工会に対して街路灯維持管理費補助金を交付しました。 (1) 修繕件数 10件 (2) 補助対象経費 689,480円 (3) 補助金額 250,000円					
5 活動指標	指標名	経営指導員等による指導件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	件 1,339.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	経営指導員等による巡回指導、 窓口指導した件数	平成 30 年度	件 1,711.00	件	
			令和 元 年度	件 1,434.00	件	
			令和 2 年度	件 1,837.00	件	
6 成果指標	指標名	一般会員数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 東郷町商工会の事業計画書に記載された数値
			平成 29 年度	人 617.00	人 650.00	
	指標の説明 (指標式)	東郷町商工会に入会している会員数	平成 30 年度	人 622.00	人 650.00	
			令和 元 年度	人 623.00	人 650.00	
			令和 2 年度	人 658.00	人 650.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	20,101,000 円	決 算 額		22,084,000 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	小規模企業等振興事業	コード	01	07	01	02	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：2町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		小規模企業者					
2 働きかける相手(対象)		小規模企業者、金融機関					
3 どのような状態にしたいのか(意図)		金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者の方々が、事業上必要とする運転資金等の融通を円滑にし、その事業の振興を図ります。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		小規模企業等振興事業 (1) 小規模企業等振興資金 ア 制度利用件数 4件 イ 貸付総額 17,450,000円 (2) 各種認定 ア セーフティネット 209件(4号:154件、5号:55件) イ 危機関連保証 353件 (3) 信用保証料・利子補給補助金 ア 小規模企業等振興資金 132,000円(4件) イ サポート資金(セーフティネット) 471,000円(3件) ウ 小規模事業者経営改善資金 127,000円(6件) (4) 小規模事業者持続化補助金 日本商工会議所が定める小規模事業者持続化補助金の交付を受けた商工会一般会員に対して、上乗せ補助を実施しました。 283,069円(2件)					
5 活動指標	指標名	信用保証料補助金額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
			平成 29 年度	円 771,000.00	円	個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 (指標式)	小規模企業等振興資金及びサポート資金(セーフティネット)の信用保証料補助金	平成 30 年度	円 1,076,000.00	円		
			令和 元 年度	円 1,597,000.00	円		
			令和 2 年度	円 603,000.00	円		
6 成果指標	指標名	取扱金融機関による貸付金額	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 過去3年間実績値の平均値	
			平成 29 年度	千円 94,190.00	千円 119,940.00		
	指標の説明 (指標式)	小規模企業等振興資金融資制度に基づく貸付金額	平成 30 年度	千円 130,590.00	千円 104,490.00		
			令和 元 年度	千円 144,000.00	千円 91,693.00		
			令和 2 年度	千円 17,450.00	千円 122,927.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	51,639,000 円	決 算 額	51,013,069 円			

I. 事業の目的体系

1 事業名	企業立地促進事業	コード	01	07	01	02	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向：(2) 町内企業の拡張及び新たな産業の誘致・育成							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		製造業者					
2 働きかける相手(対象)		製造業者					
3 どのような状態にしたいのか(意図)		東郷町都市計画マスタープランの既成市街地ゾーン（工業系）及び新市街地候補ゾーン（工業系）に工場を立地させ、産業の振興と雇用の拡大を図ります。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		企業立地促進事業 (1) 愛知県産業立地推進協議会が作成する愛知県産業立地ガイドブックに本町の案内記事を掲載しました。 (2) 企業訪問を14社に実施しました。 コロナ禍の町内経済状況について町内金融機関を訪問しヒアリングを実施しました。 また、ふるさと納税返礼品への登録等各種連携を図るため、関係課と連携し町内企業を訪問しました。 (3) 企業立地促進条例に基づく奨励金を交付しました。 また、奨励金の対象となる事業者に対して、申請事務の支援等を実施しました。 ア 工場等新設促進奨励金 1社 5,126,000円 イ 工場等増設促進奨励金 1社 506,000円 ウ 雇用促進奨励金 1社 600,000円					
5 活動指標	指標名	訪問した企業数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
			平成 29 年度	社 5.00	社	個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 (指標式)	開発の意向のある企業や条例の適用となる企業を訪問した数	平成 30 年度	社 9.00	社		
			令和 元 年度	社 3.00	社		
			令和 2 年度	社 14.00	社		
6 成果指標	指標名	新しく誘致できた企業数（累計）	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 第5次総合計画による目標値（累計）	
			平成 29 年度	社 5.00	社 6.00		
	指標の説明 (指標式)	企業立地促進条例を適用した企業数（事業数の累計）	平成 30 年度	社 5.00	社 6.00		
			令和 元 年度	社 7.00	社 6.00		
			令和 2 年度	社 7.00	社 6.00		
7 直接事業費計	前年度決算額	19,125,000 円	決 算 額		6,232,000 円		

I. 事業の目的体系

1 事業名	移住支援事業	コード	01	07	01	02	05	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		町民（東京圏からの転入者）				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		人口減少の時代において、東京圏からの移住者を呼び込むことで、町が活力を維持し持続的に発展し続け、将来にわたり勝ち残ることができるまちをつくることを目指します。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	移住支援事業費 東郷町内への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消に資するため、愛知県と共同して、東京圏から東郷町に移住される方を対象に、東郷町移住支援金交付要綱に基づき、支援金を支給する事業 令和2年度実績：0件					
5 活動指標	指 標 名	支給件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	移住支援金を支給した件数	平成 30 年度	件 0.00	件	
			令和 元 年度	件 0.00	件	
			令和 2 年度	件 0.00	件	
6 成果指標	指 標 名	支援金対象の移住者（累計）	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	件 0.00	件	個別計画における目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	移住支援金を支給した移住者の累計	平成 30 年度	件 0.00	件	
			令和 元 年度	件 0.00	件	
			令和 2 年度	件 0.00	件	
7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額		0 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	07	01	02	06	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民、事業者					
2 働きかける相手(対象)		事業者					
3 どのような状態にしたいのか(意図)		町民及び事業者を含め町が一丸となって新型コロナウイルス感染症対策を行うことで、本町での感染症発生を抑制します。また、コロナ禍においても小規模企業者が従前通り経営を継続します。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	新型コロナウイルス感染症対策事業 (1) 町内飲食店の支援 ア 町ホームページに町内のテイクアウト・デリバリー対応店を掲載し、町内飲食店を支援しました。 イ ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングにより、町内飲食店支援のための寄附を募集しました。寄附額：219千円（12人） (2) 愛知県・東郷町新型コロナウイルス感染症対策協力金 令和2年4月の愛知県緊急事態措置に基づく休業協力要請の協力金を交付しました。81,000千円（162店） (3) 東郷町新型コロナウイルス感染症対策協力金 町独自で発出した令和2年5月7日から同年6月30日までを期間とした、町内の飲食店に対する営業時間短縮要請の協力金を交付しました。13,000千円（58店） (4) 東郷町新型コロナウイルス感染症対策理容業・美容業休業協力金 令和2年4月の愛知県緊急事態措置に基づく休業協力期間中に自主的に休止した理容業又は美容業に対する協力金を交付しました。4,200千円（42店） (5) TOGO暮らし・子育てエールチケット事業 町内消費喚起及び町民の皆様の経済的支援のため、全町民を対象に、1枚500円のチケットを年齢に応じて次のとおり配布しました。 チケットは、参加全店で使用可能な共通券と飲食店のみ使用可能な食事券の2種類としました。 ア 配布額：0～22歳 2,500円（共通券4枚、食事券1枚） その他 1,500円（共通券2枚、食事券1枚） イ 参加店舗：401店 ウ 発行額：77,066,500円 エ 換金額：70,673,000円（換金率91.7%） (6) TOGOフラワーエール事業 愛知県の「農産物利活用事業」を活用し、町内公立保育園及び小中学校に町内事業者が生産したミニカトレアを配布し、花を通して児童生徒にエールを送りました。 また、愛知県産のキク等の切り花を使用して作成したトッピのフラワーアレンジメントを役場1フロビーに展示し、町民の皆様にエールを送りました。 (7) 情報提供等の支援 愛知県緊急事態措置の発令等について、随時通知等により町内飲食店に情報提供を実施しました。 また、東郷町商工会と連携し、町内飲食店の協力金申請事務を支援しました。						
5 活動指標	指標名	東郷町新型コロナウイルス感染症対策協力金支給店数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
			平成 29 年度	店	店	個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明（指標式）	東郷町独自の飲食店に対する時間短縮要請に協力し、協力金の交付を受けた店舗数	平成 30 年度	店	店		
			令和 元 年度	店	店		
			令和 2 年度	店 58.00	店		
6 成果指標	指標名	TOGO暮らし・子育てエールチケットの換金率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法	
			平成 29 年度	%	%		個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	換金額／発行額	平成 30 年度	%	%		
			令和 元 年度	%	%		
			令和 2 年度	% 91.70	%		
7 直接事業費計		前年度決算額	0 円	決 算 額		190,110,220 円	

款	8	土木費	予 算 現 額	94,246,000 円
項	1	土木管理費	決 算 額	87,880,361 円
目	1	土木総務費	前 年 度 決 算 額	83,768,511 円
			対 前 年 比	104.9 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	土木行政一般管理事業	コード	01	08	01	01	02	-
2. 総合計画の施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	職員、関係団体、町道等
3 どのような状態にしたいのか(意図)	土木関係事務を適切かつ効率的に処理するとともに、関係団体又は関係機関との連絡調整を行い、円滑に事務を行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土木一般管理事務事業					
		(1) 事務関係及び設計関係の消耗品を購入しました。					
		(2) 道路照明灯の電気料を支出しました。					
		(3) 公共用地価格審査会を4回開催しました。					
		(4) 土木積算システムの改定業務を委託しました。					
		(5) 狭隘道路の幅員確保及び道路内の私有地解消のため、分筆等の登記業務を委託しました。					
		(6) 雨水貯留タンクの設置費の一部を補助しました。8件					
		(7) 各種協議会等の総会又は研修会に参加し、負担金を支出しました。					
		(8) 道路等に係る境界確認申請、占用許可申請、承認工事申請等の審査を996件行いました。					
		ア	境界確認申請	146件			
		イ	道路占用許可申請	429件			
		ウ	道路承認工事申請	77件			
		エ	河川占用許可申請	8件			
オ	公共用物使用許可申請	41件					
カ	公共用物承認工事申請	38件					
キ	道路使用許可申請	84件					
ク	特殊車両許可申請	124件					
ケ	雨水浸水阻害行為許可申請	32件					
コ	後退用地に関する事前協議	17件					
5	活動指標	指標名	道路等の境界確認申請、占用許可申請、承認工事申請等の受理件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成 29 年度	件 828.00	件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指 標 式)	平成 30 年度	件 707.00	件		
			令和 元 年度	件 880.00	件		
			令和 2 年度	件 996.00	件		
6 直接事業費計		前年度決算額	13,679,449 円	決 算 額	7,057,509 円		

款	8	土木費	予 算 現 額	131,587,000 円
項	2	道路橋りょう費	決 算 額	128,481,398 円
目	1	道路維持費	前 年 度 決 算 額	93,848,930 円
			対 前 年 比	136.9 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	道路維持管理事業	コード	01	08	02	01	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	道路を利用する人
2 働きかける相手(対象)	道路
3 どのような状態に したいのか(意図)	道路の機能を適正に維持することにより、車両、歩行者等の通行の円滑化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	道路維持管理事業 (1) 道路維持管理用消耗品を購入しました。 草刈り機替刃、チェーンソー替刃等 (2) 道路維持管理用備品等の修理をしました。 道路パトロールカー、道路維持作業車等 (3) 工事により変更された内容を、道路台帳に反映しました。 補正 5.43km、台帳製本 1部 (4) 町道愛知池線外12路線の道路施設維持管理業務を委託しました。 除草、芝生刈込、剪定 (5) 道路維持修繕等の工事を実施しました。 舗装工事 2,227.1m 側溝工事 321.3m (6) 道路補修用資材を購入しました。 コンクリート蓋、再生砕石、常温・加熱合材、凍結防止剤等 (7) 道路維持管理用備品を購入しました。 草刈り機 2台等				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	道路施設修繕、整備延長	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	3,011.40 ^m	m	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 30 年度	2,396.90 ^m	m	
			令和 元 年度	2,749.00 ^m	m	
			令和 2 年度	2,802.00 ^m	m	
6 成果指標	指 標 名	工事発注件数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	38.00 ^{件数}	37.00 ^{件数}	過去 3 年間の平均値
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 30 年度	45.00 ^{件数}	38.00 ^{件数}	
			令和 元 年度	35.00 ^{件数}	42.00 ^{件数}	
			令和 2 年度	39.00 ^{件数}	39.00 ^{件数}	
7 直接事業費計	前年度決算額	93,848,930 円	決 算 額		128,481,398 円	

款	8	土木費	予 算 現 額	250,882,000 円
項	2	道路橋りょう費	決 算 額	132,723,943 円
目	2	道路新設改良費	前 年 度 決 算 額	410,824,190 円
			対 前 年 比	32.3 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：(3) 暮らしやすい道路の形成							

II. (Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)	道路を利用する人		
2 働きかける相手(対象)	道路		
3 どのような状態に したいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	和合ヶ丘・新池線	藤坂・涼松2号線
	工事期間	平成28年度～令和2年度	令和元年度～令和6年度
	全体工事概要	工事延長 L=460.0m 北工区 L=280.0m 南工区 L=180.0m 用地取得地権者 29名 物件移転補償対象 20名	白土涼松地区計画(道路14号) 工事延長 L=69.0m 用地取得地権者 4名 物件移転補償対象 4名 取得面積 453.44㎡
	評価年度の実施内容	工事延長 L=176.0m 杭復元 N=79箇所	償還金支出 21.18㎡
	予定全体事業量 [A]	460m	105.91 ㎡
	評価年度までの 事業量 [Σa]	460m	31.78 ㎡
	事業量の進捗率 [Σa/A]	100%	30%
	予定全体直接事業費 [B]	673,302,982円	9,694,242円
	評価年度までの 直接事業費 [Σb]	673,302,982円	3,397,172円
	事業費の進捗率 [Σb/B]	100%	35%
	評価年度の事業量 [a]	176m	21.18 ㎡
	評価年度の 直接事業費 [b]	27,302,200円	1,958,473円
5 直接事業費計	前年度決算額	410,824,190 円	決算額
			132,723,943 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：(3) 暮らしやすい道路の形成							

II. (Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)	道路を利用する人		
2 働きかける相手(対象)	道路		
3 どのような状態に したいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	半ノ木4号線	梶池・東郷中央線
	工事期間	令和元年度～令和2年度	令和2年度～令和4年度
	全体工事概要	工事延長 L=86.0m 用地取得地権者 4名 物件移転補償対象 1名 取得面積 386.99㎡	工事延長 L=774m
	評価年度の実施内容	工事延長 L=86m 杭復元 N=16箇所	工事延長 L=80m
	予定全体事業量 [A]	86 m	774 m
	評価年度までの 事業量 [Σa]	86 m	80 m
	事業量の進捗率 [Σa/A]	100 %	10.3 %
	予定全体直接事業費 [B]	31,606,450 円	154,315,000 円
	評価年度までの 直接事業費 [Σb]	31,606,450 円	4,535,300 円
	事業費の進捗率 [Σb/B]	100 %	2.9 %
	評価年度の事業量 [a]	86 m	80 m
	評価年度の 直接事業費 [b]	10,961,786 円	4,535,300 円
5 直接事業費計	前年度決算額	410,824,190 円	決算額
			132,723,943 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	道路新設改良事業	コード	01	08	02	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：(3) 暮らしやすい道路の形成							

II. (Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)	道路を利用する人		
2 働きかける相手(対象)	道路		
3 どのような状態に したいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	南蚊谷6号線	
	工事期間	平成30年度～令和3年度	年度～年度
	全体工事概要	工事延長 L=125m 物件補償調査 土地評価 不動産鑑定評価 用地取得地権者 7名 物件移転補償対象 4名 取得面積 353.79㎡	
	評価年度の実施内容	令和2年度は、実施ありません。	
	予定全体事業量 [A]	125m	件 m
	評価年度までの 事業量 [Σa]	0m	件 m
	事業量の進捗率 [Σa/A]	0%	% %
	予定全体直接事業費 [B]	30,861,804円	円 円
	評価年度までの 直接事業費 [Σb]	17,786,804円	円 円
	事業費の進捗率 [Σb/B]	57.6%	% %
	評価年度の事業量 [a]	0m	件 m
	評価年度の 直接事業費 [b]	0円	円 円
	事業量1単位当たり 直接事業費 [b/a]	0円	円 円
5 直接事業費計	前年度決算額	410,824,190円	決算額 132,723,943円

款	8	土木費	予 算 現 額	55,968,000 円
項	2	道路橋りょう費	決 算 額	54,882,300 円
目	3	橋りょう維持費	前 年 度 決 算 額	5,781,600 円
			対 前 年 比	949.3 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	橋りょう維持管理事業	コード	01	08	02	03	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	橋を利用する人
2 働きかける相手(対象)	橋りょう施設
3 どのような状態に したいのか(意図)	橋の機能を適正に維持することにより、安全に通行できる状態を保ちます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	橋りょう維持管理事業 (1) 橋りょう定期点検業務を委託しました。 14橋（狐坂跨道橋外13橋） (2) 橋りょう修繕工事を実施しました。 1橋（郡界橋）				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	橋梁補修に関する事業件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	件 4.00	件	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	平成 30 年度	件 2.00	件		
		令和 元 年度	件 1.00	件		
		令和 2 年度	件 1.00	件		
6 成果指標	指 標 名	点検橋梁面積	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 点検を必要とする橋梁 (5,545.9m2、86橋) を5年に1度点検する
			平成 29 年度	m2 1,045.50	m2 1,109.18	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	(点検を必要とする橋梁面積 (m2) ／ 5)	平成 30 年度	m2 892.70	m2 1,109.18	
			令和 元 年度	m2 1,018.10	m2 1,109.18	
			令和 2 年度	m2 1,281.90	m2 1,109.18	
7 直接事業費計	前年度決算額		5,781,600 円	決 算 額		54,882,300 円

款	8	土木費	予 算 現 額	34,474,000 円
項	2	道路橋りょう費	決 算 額	34,240,690 円
目	4	交通安全対策事業費	前 年 度 決 算 額	6,408,320 円
			対 前 年 比	534.3 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	交通安全施設対策事業	コード	01	08	02	04	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：6 安心して通行できる道路網を整備する							
	施策の展開方向：－							

Ⅱ. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	道路を利用する人
2 働きかける相手(対象)	道路
3 どのような状態に したいのか(意図)	道路を利用する人及び車両の安全を確保し、通行の円滑化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 交通安全対策一般事務事業 音貝小学校区で交通安全総点検を実施しました。 2 交通安全施設整備事業 (1) 地下横断歩道等の維持修繕業務を委託しました。 ア 北山台地下横断歩道の蛍光灯交換 31本 (2) 交通安全施設工事を実施しました。 ア 区画線 4,357.3m イ 防護柵 437.9m ウ 道路反射鏡 6基 エ カラー塗装 22.7m オ 側溝蓋設置 7.2m				
-------------------------	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	区画線、防護柵等施工延長	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	平成 29 年度		6,644.60 ^m	^m	個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 30 年度	3,733.10 ^m		^m
			令和 元 年度	2,392.50 ^m		^m
			令和 2 年度	4,825.10 ^m		^m
6 成果指標	指 標 名	交通安全施設整備箇所数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
	平成 29 年度		箇所 146.00	箇所 52.00	過去 3 年間の平均値	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	区画線、防護柵、反射鏡等の設置箇所数（路線・交差点）	平成 30 年度	箇所 80.00		箇所 74.00
			令和 元 年度	箇所 88.00		箇所 82.00
			令和 2 年度	箇所 189.00		箇所 105.00
7 直接事業費計	前年度決算額	6,408,320 円	決 算 額		34,240,690 円	

款	8	土木費	予 算 現 額	15,136,000 円
項	3	河川費	決 算 額	14,946,800 円
目	1	河川維持改修費	前 年 度 決 算 額	13,648,100 円
			対 前 年 比	109.5 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	河川等維持管理事業	コード	01	08	03	01	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうおいのあるまち							
	基本施策：3 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：(5) 河川の治水機能強化と施設の維持管理							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	河川及び排水路
3 どのような状態に したいのか(意図)	河川等の施設を適正に維持することにより、通水能力の保持及び景観を良好な状態にします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	河川等維持管理事業 (1) 河川等の維持修繕工事及び浚渫工事を実施しました。 修繕工事 79.2m 浚渫工事 456.8m (2) 河川の除草及び剪定を実施しました。 ア 春木川 堤防除草 8,332㎡×2回 護岸除草 3,904㎡×1回 低木剪定工 54㎡×1回 イ 西の川 堤防除草 3,073㎡×1回 ウ 小口川 堤防除草 2,784㎡×2回 7,311㎡×1回 護岸除草 4,156㎡×1回				
-------------------------	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	施設の維持管理作業の延べ面積	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	平成 29 年度		㎡ 39,810.00	㎡	個別計画による目標値はありません。	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	除草、剪定作業	平成 30 年度	㎡ 35,777.00		㎡
			令和 元 年度	㎡ 35,777.00		㎡
			令和 2 年度	㎡ 40,730.00		㎡
6 成果指標	指 標 名	通水阻害部分の解消箇所	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	箇所 7.00	箇所 11.00	過去 3 年間の平均値
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	排水路浚渫箇所、排水路整備箇所	平成 30 年度	箇所 6.00	箇所 9.00	
			令和 元 年度	箇所 8.00	箇所 8.00	
			令和 2 年度	箇所 11.00	箇所 7.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	13,648,100 円	決 算 額		14,946,800 円	

款	8	土木費	予 算 現 額	82,484,000 円
項	4	都市計画費	決 算 額	70,792,411 円
目	1	都市計画総務費	前 年 度 決 算 額	56,911,794 円
			対 前 年 比	124.4 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	都市計画一般管理事業	コード	01	08	04	01	02	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：3 魅力ある市街地を整備する							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民及び窓口サービス利用者
2 働きかける相手(対象)	町職員、関係機関、愛知県都市計画協会及び愛知県街路事業促進協議会
3 どのような状態にしたいのか(意図)	内部事務を適切かつ効率的に処理し、関係課及び関係機関との連絡調整を行い、都市計画事業を円滑に運営します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	都市計画関係一般事務事業 (1) 地区計画の区域内における行為の届出 審査件数 56件 (2) 都市計画基本図のコピー、都市計画図等の販売 件数 486件 (3) 愛知県都市計画協会負担金を支出し、都市計画の調査研究に努めました。 (4) 愛知県街路事業促進協議会負担金を支出し、未整備区間のある都市計画道路整備に関する要望、陳情等を実施しました。				
-------------------------	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	都市計画基本図のコピー及び都市計画図売払件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	件 611.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 30 年度	件 539.00	件	
			令和 元 年度	件 519.00	件	
			令和 2 年度	件 486.00	件	
6 直接事業費計	前年度決算額		93,132 円	決 算 額		93,544 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	都市計画調査決定事業	コード	01	08	04	01	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：3 魅力ある市街地を整備する							
	施策の展開方向：(1) 秩序あるまちの形成							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民及び町内に土地、家屋等を所有する人				
2 働きかける相手(対象)		関係機関職員、町都市計画審議会委員、地区まちづくり団体及び町民				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		健全で秩序あるまちづくりを目指し、土地利用のあり方や道路・公園の整備等について計画を策定することにより、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを誘導します。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 都市計画調査決定事業 東郷町土地利用可能性基礎調査業務 本町東部地域における(都)日進三好線の沿線地域は、同街路の共用等と合わせ、東名三好ICとの近接性とともに、愛知池、名大農場等の地域資源を生かした新たな市街地形成が期待されていることから、将来的な土地利用の可能性を調査しました。 (1) 現況把握(現況土地利用、規制等の把握、現地踏査など) (2) ニーズ把握(事業者アンケート 497件(回答数100件)など) (3) 土地利活用検討(土地利用方針の検討) (4) 事業化に向けた課題整理					
	2 都市計画マスタープラン作成事業 (1) 公募の住民等による東郷町まちづくり会議を意見照会方式により実施しました。(R2.4月、有効回答25人) (2) 有識者等による検討委員会を開催しました。(R2.9.1、R2.10.22) (3) これまでの検討を元に、都市計画マスタープラン(案)を取りまとめました。 (4) 都市計画マスタープラン(案)を都市計画審議会に諮問し、答申を受けました。(R2.11.25) (5) パブリックコメントを実施しました。(R2.12.3~R2.12.23、意見1名3件) (6) 都市計画マスタープランを公表しました。(目標年次 令和12年度(2030年度))					
5 活動指標	指標名	会議への出席回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	回 9.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	都市計画関係の会議への出席回数	平成 30 年度	回 11.00	回	
			令和 元 年度	回 7.00	回	
			令和 2 年度	回 3.00	回	
6 成果指標	指標名	愛知県都市計画基礎調査委託業務項目数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	項目 2.00	項目	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	愛知県都市計画基礎調査における町で実施した調査項目数	平成 30 年度	項目 1.00	項目	
			令和 元 年度	項目 2.00	項目	
			令和 2 年度	項目 0.00	項目	
7 直接事業費計		前年度決算額	8,591,658 円	決 算 額		14,493,263 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	建築指導事業	コード	01	08	04	01	04	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：5 美しい街並み景観のあるまちをつくる							
	施策の展開方向：(1) 住宅地の街並み形成							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民及び町内に土地、家屋等を所有する人				
2 働きかける相手(対象)		宅地造成事業及び住宅等建設事業を施行する人				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		秩序あるまちづくりを図るとともに、町民の快適な生活環境の確保に努めます。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	建築確認関係事業					
	(1) 都市計画法、宅地造成等規制法、建築基準法等の許認可申請の受付事務 ア 開発行為許可申請 16件 イ 建築物の新築等許可申請 18件 ウ 宅地造成に関する工事の許可申請 10件 エ 建設リサイクル届 91件 (2) 屋外広告物に関する事務 ア 許可申請 43件 イ 違反広告物の簡易除却 0件(月1回町内巡回) (3) 宅地開発、建築事業計画の指導事務 ア 開発行為及び土地利用の調整に関する条例に基づく事前協議の審査事務を行いました。(39件) イ 建築基準法道路の指定状況の問い合わせの際に使用する地図を更新しました。 (4) 建築指導 愛知県尾張建設事務所の担当職員と建築に関する相談、検査等を実施しました。(79件) (5) 空き家対策事務 ア 被相続人居住者家屋等確認書を交付しました。(8件) イ 空き家の疑いのある建物の所有者へ適正管理を依頼する文書を送付しました。(4件)					
5 活動指標	指標名	会議への出席回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	回 9.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	建築指導事業関係の会議への出席回数	平成 30 年度	回 11.00	回	
			令和 元 年度	回 7.00	回	
			令和 2 年度	回 8.00	回	
6 成果指標	指標名	許認可受付件数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	件 191.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	許認可申請等の受付処理件数	平成 30 年度	件 197.00	件	
			令和 元 年度	件 178.00	件	
			令和 2 年度	件 217.00	件	
7 直接事業費計		前年度決算額	845,949 円	決 算 額		1,055,351 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	耐震化促進事業	コード	01	08	04	01	05	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：3 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：(1) 安心できる住宅の整備							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		地域住民					
2 働きかける相手(対象)		旧耐震基準の家屋を所有する者					
3 どのような状態にしたいのか(意図)		災害に強い街づくりを図るとともに、町民の安全な生活環境の確保に努めます。					
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	耐震化促進事業						
	(1) 民間木造住宅耐震診断(無料)を実施しました。(8件)						
	(2) 民間木造住宅耐震改修費の補助を実施しました。(2件)						
	(3) 民間木造住宅耐震除却費の補助を実施しました。(1件)						
	(4) 民間ブロック塀等撤去費の補助を実施しました。(4件)						
(5) 東郷町耐震改修促進計画を計画期間の満了に伴い改定しました。(計画期間 令和3年度～令和12年度)							
5 活動指標	指標名	木造住宅耐震診断の件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値		
			平成 29 年度	件 24.00	件 19.00	過去3年間の実績値の平均	
	指標の説明(指標式)	旧耐震基準の民間木造住宅に対し町の無料耐震診断を実施した件数	平成 30 年度	件 26.00	件 23.00		
			令和 元 年度	件 8.00	件 25.00		
			令和 2 年度	件 8.00	件 20.00		
6 成果指標	指標名	木造住宅耐震改修補助の件数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法	
			平成 29 年度	件 3.00	件 5.00	過去3年間の実績値の平均	
	指標の説明(指標式)	旧耐震基準の民間木造住宅の耐震改修工事に対して補助金を交付した件数	平成 30 年度	件 4.00	件 5.00		
			令和 元 年度	件 1.00	件 3.00		
			令和 2 年度	件 2.00	件 3.00		
7 直接事業費計		前年度決算額		1,483,873 円	決 算 額		10,289,600 円

款	8	土木費	予 算 現 額	106,478,000 円
項	4	都市計画費	決 算 額	103,297,113 円
目	2	公園緑地費	前 年 度 決 算 額	97,323,835 円
			対 前 年 比	106.1 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	公園緑地等維持管理事業	コード	01	08	04	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：（1）公園・緑地の新規整備及び既存公園の適正な維持管理							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	公園利用者
2 働きかける相手(対象)	公園施設
3 どのような状態に したいのか(意図)	公園施設を適正に維持管理することにより、町民に安全で、かつ、快適な憩いの場を提供します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 都市公園緑地維持管理事業 (1) 公園、緑地の維持管理を次のとおり実施しました。 ア 都市公園・緑地 35か所 イ 親水公園、ふれあい広場 3か所 ウ 児童遊園 8か所 エ ちびっこ広場 9か所 オ その他公園・緑地 30か所 (2) 定期的な維持管理として、除草、園内のゴミ清掃、トイレ清掃、浄化槽の保守点検、遊具の安全点検等を行いました。 (3) 電気及び上下水道の使用料、うしばさん公園を始め5公園の用地借地料を支払いました。 (4) 遊具、水のみ場等の公園施設は、老朽した部分又はいたずらによる破損箇所などの修繕を行いました。 (5) 交通児童遊園は地元老人クラブ、涼松緑道は愛知豊川用水振興協会、ふれあい広場及び柵池親水公園は指定管理者により施設の維持管理を行いました。 (6) 公園愛護会18団体（複数の公園で活動する団体があります。）に報償金を支払い、20か所の公園の愛護活動を行っていただきました。 2 公園緑地管理一般事務事業 例年参加している県が実施する公園緑地行政研究会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	維持管理した都市公園、緑地等の面積（ha）	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	都市計画公園・緑地等計85か所	平成 29 年度	ha 28.46	ha	個別計画による目標値 はありません。
			平成 30 年度	ha 28.46	ha	
			令和 元 年度	ha 28.46	ha	
			令和 2 年度	ha 28.46	ha	
6 成果指標	指 標 名	管理公園における苦情要望等の 1件当たりの面積（㎡/件）	年 度	実 績 値	目 標 値	
指標の説明 （ 指 標 式 ）	維持管理公園面積〔28.46ha〕÷ （要望＋苦情件数）〔68件〕値 が大きいほど適正に管理されて いる	平成 29 年度	㎡/件 4,447.00	㎡/件 3,594.00	過去3年間の実績値の 平均値	
		平成 30 年度	㎡/件 6,618.00	㎡/件 3,780.00		
		令和 元 年度	㎡/件 4,992.00	㎡/件 4,740.00		
		令和 2 年度	㎡/件 4,185.00	㎡/件 5,352.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	92,576,672 円	決 算 額		82,575,622 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	公園緑地築造事業	コード	01	08	04	02	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：(1) 公園・緑地の新規整備及び既存公園の適正な維持管理							

II. (Do)建設事業の内容

1 誰のために(受益者)	地域住民及び公園利用者		
2 働きかける相手(対象)	公園施設等		
3 どのような状態に したいのか(意図)	地区住民の利用に供する身近な公園を整備することで、良好な居住環境の形成を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	牛廻間地区計画公園4号(用地取得)	上城さくら公園築造工事 上鏡田公園築造工事
	工事期間	平成27年度～令和2年度	令和2年度～令和3年度 令和2年度～令和4年度
	全体工事概要	用地取得 289.55㎡・平成27年度取得(土地開発公社)・公社買戻し(5年償還)	公園築造工事 A=0.3ha 公園築造工事 A=0.55ha
	評価年度の実施内容	用地取得 28.95㎡ (累計289.55㎡)	公共測量設計委託業務 調査測量委託業務
	予定全体事業量 [A]	289.55 ㎡	0.3 ha 0.55 ha
	評価年度までの事業量 [Σa]	289.55 ㎡	0 ha 0 ha
	事業量の進捗率 [Σa/A]	100 %	0 % 0 %
	予定全体直接事業費 [B]	23,785,164 円	113,043,810 円 210,000,000 円
	評価年度までの直接事業費 [Σb]	23,784,164 円	5,243,810 円 6,270,000 円
	事業費の進捗率 [Σb/B]	100%	4.6 % 3 %
	評価年度の事業量 [a]	28.95 ㎡	0 ha 0 ha
	評価年度の直接事業費 [b]	2,365,681 円	5,243,810 円 6,270,000 円
5 直接事業費計	前年度決算額	4,747,163 円	決算額 13,879,491 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	緑化振興事業	コード	01	08	04	02	03	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる							
	施策の展開方向：(2) 緑化の推進							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		町民（文化産業まつり参加者、小中学校、自治会）				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		地域における緑化の推進や一般家庭の緑化を促進することにより、町民の緑化に対する意識の向上が図られるようにします。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 緑化振興事業 例年参加を予定しておりました全国植樹祭は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。					
	2 緑化事業 (1) 緑化木配布事業として予定していた文化産業まつりが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、緑化木配布事業も中止となりました。 (2) 愛知県緑化推進委員会に会費を支出しました。 (3) 緑の募金委員会の運営 ア 春期緑の募金運動を令和2年4月1日から令和2年7月31日まで実施しました。 募金総額 244,199円 イ 自治会等18団体へ花壇整備等の緑化推進事業に対し助成金を交付しました。 (4) 都市緑化推進事業として、民有地の緑化に対し3件補助金を交付しました。					
5 活動指標	指標名	緑化木配布本数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	本 400.00	本	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	緑化木配布事業で配布した本数	平成 30 年度	本 320.00	本	
			令和 元 年度	本 320.00	本	
			令和 2 年度	本 0.00	本	
6 成果指標	指標名	町人口100人当たりの募金額	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	円 690.00	円 676.00	過去3年間の平均値
	指標の説明 (指標式)	募金総額÷人口×100人人口＝ 44,020人（令和2年7月末時点）	平成 30 年度	円 662.00	円 702.00	
			令和 元 年度	円 561.00	円 721.00	
			令和 2 年度	円 555.00	円 637.00	
7 直接事業費計	前年度決算額	632,100 円	決 算 額		6,842,000 円	

款	8	土木費	予 算 現 額	496,078,000 円
項	4	都市計画費	決 算 額	416,579,083 円
目	3	開発事業費	前 年 度 決 算 額	476,837,857 円
			対 前 年 比	87.4 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	開発推進事業	コード	01	08	04	03	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：3 魅力ある市街地を整備する							
	施策の展開方向：(2) 中心核の形成							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者
2 働きかける相手(対象)	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者
3 どのような状態に したいのか(意図)	経済動向に左右されることなく、時代の変化に合わせた実現性の高い土地利用を展開し、地区を一体的に整備することにより、快適で活気あふれるまちになるようにします。また、集約型都市構造への転換を目指し、魅力ある「まちの中心核」の形成を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 開発事業一般事務事業 (1) 愛知県土地区画整理組合連合会の研修会等へ2回参加しました。 (2) 尾東土地区画整理事務研究協議会の研修会等に3回参加しました。 (3) 公益財団法人愛知県都市整備協会の研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 (4) まちづくりを円滑に推進するため、県等関係機関との連絡・調整を行うとともに、まちづくりに関する相談に対応しました。 (5) 土地区画整理事業地内の建築行為に係る土地区画整理法第76条に基づく許可事務を行いました。 2 東郷町まちづくり推進事業 (1) 土地区画整理事業への技術的支援 ア 東郷中央土地区画整理事業 (7) 組合が開催する総代会、役員会、委員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。 (4) 組合が発注する工事等の設計・積算等に対し指導を行いました。 イ 東郷和合知々釜土地区画整理事業 組合が開催する総会、役員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。 (2) 社会資本整備総合交付金事業 ア 都市計画道路建設負担金 東郷中央土地区画整理組合が施工する都市計画道路名古屋春木線に係る補助金の一部を負担しました。 負担額 25,000,000円(町負担割合 2.5/10) イ 東郷町土地区画整理事業助成金 同要綱に基づき、東郷中央土地区画整理組合に対し助成しました。 助成額 367,860,000円(翌年度繰越額 78,300,000円) (3) 東郷町エコまちづくり計画の推進 本計画を推進するため、計画に掲げる導入メニューの実現に向けた調査・検討を行うとともに、計画の進捗管理を行いました。				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	東郷中央土地区画整理組合の各種会議への出席回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	東郷中央土地区画整理組合が開催した各種会議や説明会等への町職員の出席回数	平成 29 年度	回 53.00	回	個別計画による目標値はありません。
			平成 30 年度	回 56.00	回	
			令和 元 年度	回 51.00	回	
			令和 2 年度	回 49.00	回	
6 成果指標	指 標 名	事業進捗率	年 度	実 績 値	目 標 値	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	東郷中央土地区画整理事業の事業進捗率 累積事業費／総事業費×100	平成 29 年度	% 33.10	% 28.35	事業計画の年度別資金計画を目標値としました。
			平成 30 年度	% 56.00	% 48.44	
			令和 元 年度	% 77.70	% 66.99	
			令和 2 年度	% 86.80	% 84.03	
7 直接事業費計	前年度決算額	455,024,161 円	決 算 額		392,938,744 円	

款	8	土木費	予 算 現 額	442,751,000 円
項	5	下水道費	決 算 額	442,751,000 円
目	1	下水道整備費	前 年 度 決 算 額	444,363,000 円
			対 前 年 比	99.6 %

I. 事業の目的体系

1. 事業名	下水道事業会計繰出金事業	コード	01	08	05	01	01	-
2. 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅴ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち							
	基本施策：8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める							
	施策の展開方向：－							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	公共下水道区域内の町民
2 働きかける相手(対象)	下水道事業会計
3 どのような状態にしたいのか(意図)	東郷町下水道事業会計の健全な財政運営を確保し、下水道事業を計画どおり進めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	下水道事業会計繰出金 下水道事業費の財源について、当該事業に充てられる国庫補助金、企業債、受益者負担金、下水道使用料及び雑収益以外の財源を一般会計から繰り出しました。				
-------------------------	---	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	繰出金額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	円 469,636,000.00	円	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)	平成 30 年度	円 466,712,000.00	円		
		令和 元 年度	円 444,363,000.00	円		
		令和 2 年度	円 442,751,000.00	円		
6 直接事業費計		前年度決算額 444,363,000 円		決 算 額 442,751,000 円		

款	9	消防費	予 算 現 額	542,280,000 円
項	1	消防費	決 算 額	542,280,000 円
目	1	常備消防費	前 年 度 決 算 額	533,092,232 円
			対 前 年 比	101.7 %

I. 事業の目的体系

1. 事 業 名	尾三消防組合負担金事業	コード	01	09	01	01	01	-
2. 総 合 計 画 の 系 施 策 体 系	基 本 目 標 : 目標Ⅳ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち							
	基 本 施 策 : 1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する							
	施策の展開方向: (1) 消防・救急体制の強化							

II. (Do)内部事務の内容

1 誰のために(受益者)	町民、事業所、町内一時滞在者
2 働きかける相手(対象)	尾三消防組合
3 どのような状態にしたいのか(意図)	消防・救急等の消防力の強化を図り、町民の生命、身体及び財産を守ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	尾三消防組合負担金事業 尾三消防組合に対し、負担金を支出しました。				
-------------------------	--------------------------------------	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	尾三消防組合負担金額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	千円 546,868.00	千円	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 (指 標 式)		平成 30 年度	千円 539,766.00	千円	
			令和 元 年度	千円 533,093.00	千円	
			令和 2 年度	千円 542,280.00	千円	
6 直接事業費計	前年度決算額 533,092,232 円		決 算 額 542,280,000 円			

款	9	消防費	予 算 現 額	54,996,360 円
項	1	消防費	決 算 額	15,266,843 円
目	2	非常備消防費	前 年 度 決 算 額	20,203,117 円
			対 前 年 比	75.6 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	消防団運営事業	コード	01	09	01	02	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する							
	施策の展開方向：(2) 消防団員の資質向上							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	各種災害の被災者
2 働きかける相手(対象)	消防団員
3 どのような状態に したいのか(意図)	消防団員の資質及び機動力の向上を図るとともに、団員を確保し、地域における防災体制を整えます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 消防団運営事業 (1) 東郷町消防団の組織（令和2年4月1日現在） ア 団長 1名、副団長 2名 イ 分団員数 (7) 諸輪分団 26名 (4) 和合分団 16名 (7) 傍示本分団 26名 (1) 祐福寺分団 19名 (2) 会議、研修会等 ア 正副分団長会議を年6回開催し、活動内容の確認、出動状況及び情報交換を実施しました。 イ 例年開催していた役員県外研修については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止としました。 (3) 各種訓練、点検活動等 ア 6月7日 水防訓練 参加団員35名、役場職員23名 イ 9月27日 尾三消防連絡協議会合同訓練 参加団員16名 ウ 12月27日～30日 年末特別警戒（地区全域） エ 毎月1回 無線試験、放水訓練及び資機材等点検 オ 5月～7月 消防水利点検（地区及び女性防災クラブと合同で実施） カ 9月～10月 消防用ホース耐圧試験 キ 「基本訓練」、「総合防災訓練」、「消防出初観閲式」、「文化財防火訓練」及び「町消防団入退団式」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止しました。 (4) 火災風水害等に伴う出動 家屋火災等に伴う出動 2件 15名 (5) その他の活動等 各地区で開催された防災訓練に参加しました。 2 町消防操法大会運営事業 町消防操法大会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止しました。 3 消防団詰所建替事業 傍示本分団詰所の建替詳細設計を実施しました。
-------------------------	--

5 活動指標	指標名	各種訓練実施回数（基本訓練、操法訓練、水防訓練、文化財防火訓練、林野火災訓練）	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成 29 年度	回 5.00	回
	指標の説明 （指標式）	消防団全体で実施する各種訓練の回数（ただし、分団個別の訓練、啓発活動、会議を除く。）	平成 30 年度	回 5.00	回
			令和 元 年度	回 4.00	回
			令和 2 年度	回 1.00	回
6 成果指標	指標名	基本訓練参加率	年 度	実 績 値	目 標 値
			平成 29 年度	% 28.38	% 23.17
	指標の説明 （指標式）	基本訓練に参加した人数÷団長・副団長を含む消防団員数（各年4月1日現在）×100	平成 30 年度	% 25.20	% 28.38
			令和 元 年度	% 29.03	% 28.38
			令和 2 年度	% 0.00	% 29.03
7 直接事業費計	前年度決算額	19,133,219 円	決 算 額	14,688,843 円	

I. 事業の目的体系

1 事業名	女性防災クラブ運営事業	コード	01	09	01	02	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する							
	施策の展開方向：(2) 消防団員の資質向上							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		女性防災クラブ会員				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		防災に関する基礎知識を身につけ、自主防災組織と連携し地域や家庭内から防災意識を向上させることで災害時に迅速、適切な対応ができるようにします。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	女性防災クラブ運営事業					
	(1) 東郷町女性防災クラブの組織（令和2年4月1日現在）					
	ア 会長 1名、副会長 2名					
	イ 支部会員数 (ア) 諸輪支部 14名 (イ) 和合支部 20名 (ウ) 傍示本支部 14名 (エ) 祐福寺支部 20名 (オ) 部田支部 16名 (カ) 白土支部 5名 (キ) 和合ヶ丘支部 16名 (ク) 春木台支部 21名 (ケ) 北山台支部 11名 (コ) 部田山支部 15名 計152名（正副会長含む。）					
	(2) 会議、研修会等					
	ア 正副会長及び正副支部長の役員会を年3回開催し、活動内容の確認、情報交換等を実施しました。					
	イ 役員研修会については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止としました。					
	(3) 訓練、講習会等					
	ア 5月～7月 消防水利点検（地区及び消防団と合同で実施）					
	イ 10月～11月 普通救命講習 151名参加					
ウ 例年実施している「炊き出し訓練（水防訓練）」、「総合防災訓練」及び「消防出初観閲式」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、規模縮小又は中止としたため、女性防災クラブは不参加としました。						
(4) その他の活動等						
各地区で開催された防災訓練に参加協力しました。						
(5) 女性防災クラブの各支部運営活動費として助成金を交付しました。						
5 活動指標	指標名	防災技術取得事業実施回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	回 1.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 （指標式）	防災技術取得事業（普通救命講習）	平成 30 年度	回 1.00	回	
			令和 元 年度	回 1.00	回	
			令和 2 年度	回 1.00	回	
6 成果指標	指標名	普通救命講習受講者率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 会員全員の参加を目標としました。（2年に1回受講）
			平成 29 年度	% 99.39	% 100.00	
	指標の説明 （指標式）	普通救命講習受講者数人数÷クラブ会員総数×100	平成 30 年度	% 98.17	% 100.00	
			令和 元 年度	% 99.40	% 100.00	
			令和 2 年度	% 99.34	% 100.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	1,069,898 円	決 算 額		578,000 円

款	9	消防費	予 算 現 額	9,753,940 円
項	1	消防費	決 算 額	9,743,460 円
目	3	消防施設費	前 年 度 決 算 額	5,162,420 円
			対 前 年 比	188.7 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	消防水利設置管理事業	コード	01	09	01	03	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する							
	施策の展開方向：(3) 消防施設の強化							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	被災者
2 働きかける相手(対象)	消防水利
3 どのような状態に したいのか(意図)	耐震性貯水槽、消火栓を整備、維持管理して消防力を強化します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 消防水利設置事業

(1) 防火水槽並びに消火栓（地下式、地上式）の新設、移設及び撤去を実施しました。

(2) 消防水利標識を交換を実施しました。

(3) 格納箱の交換を実施しました。

(4) 無害防火水槽の有蓋化工事を2か所実施しました。

2 消火栓維持管理事業

(1) 消火栓（468基分）の維持管理負担金を愛知中部水道企業団へ支出しました。

(2) 備品を購入しました。（格納庫一式、スピンドル6本）

【参考】

消防水利の状況（令和3年3月末現在）

防火水槽	蓋有	119基（うち耐震性貯水槽 23基）
	蓋無	7基
	プール	10か所
消火栓	65ミリ地下式	284基
	65ミリ地上式	8基
	40ミリ地下式	2基
	40ミリ地上式	178基（格納箱併設 筒先1個・40ミリホース2本・金具1個）
	計	608基（所）

5 活動指標	指 標 名	消防水利整備基数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	基 3.00	基	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 （ 指 標 式 ）	耐震性貯水槽設置数＋防火水槽 蓋設置数＋消火栓設置数＋消防 水利修繕数	平成 30 年度	基 0.00	基	
			令和 元 年度	基 2.00	基	
			令和 2 年度	基 2.00	基	
6 成果指標	指 標 名	消防水利の総数（池、河川含ま ず。）	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
			平成 29 年度	基 606.00	基 612.00	前年度末設置数
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 30 年度	基 603.00	基 606.00	
			令和 元 年度	基 605.00	基 603.00	
			令和 2 年度	基 608.00	基 605.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	5,162,420 円	決 算 額		9,743,460 円

款	9	消防費	予 算 現 額	1,734,000 円
項	1	消防費	決 算 額	1,033,858 円
目	4	防災啓発費	前 年 度 決 算 額	4,351,511 円
			対 前 年 比	23.8 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	防災啓発事業	コード	01	09	01	04	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：3 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：(2) 防災訓練の実施							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	町民
2 働きかける相手(対象)	自主防災組織、町民
3 どのような状態に したいのか(意図)	各自主防災組織を中心に災害時の緊急対応力を強化するとともに、町民の防災意識を高めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	防災啓発事業 自主防災組織の育成及び防災訓練などの各種活動を支援しました。 (1) 自主防災組織の数 17団体 (2) 自主防災組織等の活動 各地区及び自主防災組織の9団体において、年1回程度、初期消火、避難、情報伝達などの防災訓練を実施しました。 (3) 自主防災組織活動助成金 自主防災組織の活動に対する助成金を10地区に交付しました。 各50,000円 計500,000円 (4) 賞味期限が1年未満となった備蓄食料を防災啓発品として、地区の防災訓練及び小学校の防災教育に利用するため配布しました。 また、配布後の残数については、新型コロナウイルス感染症により生活困窮となった世帯へ食糧を提供するフードバンクへ寄付しました。 ア 地区防災訓練配布数：アルファ米(4,061食)、クラッカー(2,940食) イ 小学校の防災教育配布数：アルファ米(990食) ウ フードバンク配布数：アルファ米田舎ご飯(949食)、クラッカー(140食) (5) 家具転倒防止器具取付事業として、65歳以上の高齢者のみの世帯等に対して、家具の転倒を防止するため、金具の取付を行いました。(申請世帯数9世帯) (6) 感震ブレーカー設置費補助事業として、感震ブレーカー(簡易タイプ)を設置する世帯に対し、通電火災を防止するため、購入費用の一部を補助金として交付しました。(申請世帯数5世帯) (7) 避難所開設訓練 感染症が発生している状況下において、避難所の受付方法など職員の避難所開設体制を確認し、災害発生時の円滑な避難所開設を行うことができるよう実施しました。(11月15日イーストプラザいこまい館で実施)(70名参加)
-------------------------	---

5 活動指標	指 標 名	自主防災組織数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	地区 17.00	地区	個別計画による目標値 はありません。
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 30 年度	地区 17.00	地区	
			令和 元 年度	地区 17.00	地区	
			令和 2 年度	地区 17.00	地区	
6 成果指標	指 標 名	防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 訓練実施地区を17地区 全部としました。
			平成 29 年度	件 17.00	件 17.00	
	指標の説明 （ 指 標 式 ）		平成 30 年度	件 17.00	件 17.00	
			令和 元 年度	件 17.00	件 17.00	
			令和 2 年度	件 9.00	件 17.00	
7 直接事業費計		前年度決算額	4,351,511 円	決 算 額		1,033,858 円

款	9	消防費	予 算 現 額	27,814,000 円
項	1	消防費	決 算 額	26,637,877 円
目	5	災害対策費	前 年 度 決 算 額	40,836,495 円
			対 前 年 比	65.2 %

I. 事業の目的体系

1 事業名	災害対策事業	コード	01	09	01	05	01	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：3 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：(3) 災害活動拠点の整備							

II. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)	被災者
2 働きかける相手(対象)	町民、職員、防災資機材
3 どのような状態に したいのか(意図)	防災計画に基づく職員非常配備体制を整えとともに、災害時の備蓄品、災害用資機材を充実します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 災害対策職員給与関係事業 10月10日 台風14号の接近に伴い、第1非常配備を執り、事務局及びインフラ班で警戒に当たりました。(非常配備第1班は自宅待機として実働なし) 2 災害対策事業 (1) 災害用備蓄品を購入し、防災倉庫において備蓄しました。 飲料水(2Lペットボトル)1,470本、飲料水(500mlペットボトル)216本、ライスクッキー2,376食、アルファ米(わかめ・山菜おこわ・田舎ごはん・梅がゆ)計4,150食、粉ミルク(アレルギー対応800g)56缶、液体ミルク(240ml)24缶 (2) 3月20日に東郷町防災会議を開催し、地域防災計画を見直しました。 (3) 3月20日に東郷町国民保護協議会を開催し、国民保護計画の変更について答申を得ました。 3 防災無線整備事業 全国瞬時警報システム(J-A L E R T)の保守点検を7月に実施しました。 4 職員訓練等 6月5日 メール参集訓練(参加人数 181名) 災害発生時の円滑な参集を目指すことを目的として実施しました。				
-------------------------	--	--	--	--	--

5 活動指標	指 標 名	災害対策本部設置回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
	指標の説明 (指 標 式)		平成 29 年度	回 5.00	回	個別計画による目標値 はありません。
			平成 30 年度	回 5.00	回	
			令和 元 年度	回 1.00	回	
			令和 2 年度	回 1.00	回	
6 成果指標	指 標 名	備蓄整備計画に基づき町で確保 する非常備蓄食糧数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 H27～過去地震最大モ デルによる想定避難者 数（1日目600人、2、 3日目4,300人）×2食
	指標の説明 (指 標 式)		平成 29 年度	食 19,650.00	食 18,400.00	
		各年度末の総備蓄食糧数（昼 食・夕食用のアルファ米食数） （高齢者用のお粥、朝食用のク ラッカーは含めない。）	平成 30 年度	食 19,650.00	食 18,400.00	
			令和 元 年度	食 19,650.00	食 18,400.00	
		令和 2 年度	食 19,650.00	食 18,400.00		
7 直接事業費計		前年度決算額	40,836,495 円	決 算 額		14,767,883 円

I. 事業の目的体系

1 事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	09	01	05	02	-
2 総合計画の 施策体系	基本目標：目標Ⅳ 安全で環境にやさしいおいしいのあるまち							
	基本施策：3 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向：－							

Ⅱ. (Do)一般事業の内容

1 誰のために(受益者)		町民				
2 働きかける相手(対象)		町民、職員、感染症対策資機材				
3 どのような状態にしたいのか(意図)		職員を中心に感染症発生時の災害対応力を強化するとともに、災害発生時の避難所内での感染症防止対策を適切に対応できるようにします。				
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか		新型コロナウイルス感染症対策事業 (1) 感染症対策資機材を購入し、防災倉庫に備蓄しました。 非接触型体温計40台、不織布マスク30,000枚、感染防護衣1,000着、サーキュレーター80台、パネルテント2台、段ボールベッド100台、段ボールパーテーション100セット他 (2) 感染症の対策を実施しました。 ア 対策本部会議 令和2年4月6日～令和3年3月19日までの間に51回の新型コロナウイルス感染症等対策本部会議を実施し、本町の感染症への対応、町民への感染症感染予防の意識啓発などを決定しました。 イ 周知啓発方法について 広報紙、町広報車、地域安心メール、Twitter、町HPで町民へ向け感染症に係る啓発を行いました。				
5 活動指標	指標名	対策本部開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成 29 年度	回	回	個別計画による指標はありません。
	指標の説明 (指標式)		平成 30 年度	回	回	
			令和 元 年度	回	回	
			令和 2 年度	回 51.00	回	
6 成果指標	指標名	感染症対策資機材を備蓄する指定避難所数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 主要な避難所である小中学校9校全てへの備蓄を目標としました。
			平成 29 年度	校	校	
	指標の説明 (指標式)	備蓄を行う指定避難所は主要な避難所としている小中学校	平成 30 年度	校	校	
			令和 元 年度	校	校	
			令和 2 年度	校 9.00	校 9.00	
7 直接事業費計	前年度決算額		0 円	決 算 額		11,869,994 円